

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

平成 25 年 10 月 17 日 (木) 15:30 ~ 16:30

※懇談会終了後、お時間のある方は引き続きご懇談ください。

1. 挨拶 — 須藤健一 (館長) —

2. ニュースリリース — 八杉佳穂 (広報企画会議・議長) —
●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

3. 平成25年度10月採用
新任教員からの挨拶 — 丸川雄三 (先端人類科学研究部・准教授) —

4. 佐々木高明先生追悼シンポジウム
日本文化のしくみ—その多様性を考える

詳細は
こちら

佐々木高明先生は、アジア的視点と学際的な視点から日本文化の形成の問題に取り組み、日本文化の基層は北からの文化(ナラ林文化)、南からの文化(照葉樹林文化)の流れが幾重にも列島の中に堆積した受容・集積型の文化であり、多様で柔軟な重層構造をもつことを主張しました。本シンポジウムでは、佐々木先生の学説の概要を紹介し、日本の民族学史の中に位置づけるとともに、どのように受容、批判され、学問的に展開されてきたかを検討します。

主催：国立民族学博物館／共催：総合地球環境学研究所／協力：千里文化財団

日時：2013年11月9日(土) 13:00～16:30

会場：国立民族学博物館 講堂

一般公開(参加無料／申込不要／定員450名)



— 久保正敏 (副館長) —

5. みんな公開講演会
ミャンマー 刻んだ歴史 未来へのまなざし

詳細は
こちら

ユーラシアの要に位置するミャンマー。民主化の進展や海外からの経済進出の拡大など、世界で今最も注目を集めている国の一つです。政治や経済の変動は人びとの暮らしをどのように変えているのか。この国はこれからどのような道を進むのか。第一線の研究者が現地調査の経験を踏まえ、ミャンマーの過去、現在、未来に迫ります。

日時：2013年10月25日(金) 18:30～20:40 (開場17:30)

場所：日経ホール(東京都千代田区大手町1-3-7日経ビル3階)

定員：600名・参加費：無料(要申込／参加証が必要)

主催：国立民族学博物館・日本経済新聞社

手話通訳あり



— 田村克己 (民族社会研究部・教授) —

6. 研究公演

共振する大地のリズムーブルキナファソ・カバコと 佐渡・春日鬼組の競演

詳細は
こちら

アフリカ、ブルキナファソのグワンの人びとの間に継承される葬送儀礼の楽士として育ったバラフォン奏者ムッサ・ヘマ率いるグループ「カバコ」と、佐渡「春日鬼組」の競演を通じて、大地と生活に密着して生み出される音の世界を体感できます。

日 時：2013年11月3日（日・祝）13：30～15：30（開場13：00）

場 所：国立民族学博物館 講堂

定 員：450名

参加費：無料（要申込※10月10日（木）必着）

出 演：ムッサ・ヘマ〈元国立舞踊団首席バラフォン奏者〉

カバコ〈グワン人の楽士グループ〉

佐渡 春日鬼組〈鬼太鼓の芸能集団〉

主 催：国立民族学博物館



— 吉田憲司（文化資源研究センター・教授） —

7. 研究公演

雄勝法印神楽 みんぱく公演

詳細は
こちら

懸命な復興活動が進められている東北地方について、より関心をもっていただくことを目的として、このたび、宮城県の雄勝法印神楽の公演をおこなうこととなりました。三陸沿岸の伝統文化を代表する雄勝法印神楽をごらんいただき、再度、東日本大震災と東北地方へまなざしを向ける機会になればと思います。

日 時：2013年11月23日（土・祝）13：30～16：00（開場13：00）

場 所：国立民族学博物館 講堂

定 員：450名

参加費：無料（要申込※10月31日（木）必着）

演 舞：雄勝法印神楽

主 催：国立民族学博物館



— 日高真吾（文化資源研究センター・准教授） —

8. カミノミ

カミノミ（神への祈り）／アイヌ工芸 in みんなく

詳細は
こちら

みんなくに収蔵されているアイヌの標本資料への感謝と安全を願い、北海道アイヌ協会の会員による、カミノミをおこないます。あわせて古式舞踊も披露します。どなたでも見学できますので、ぜひお越しください。

日時：11月21日（木）10：30～

場所：国立民族学博物館 玄関前広場

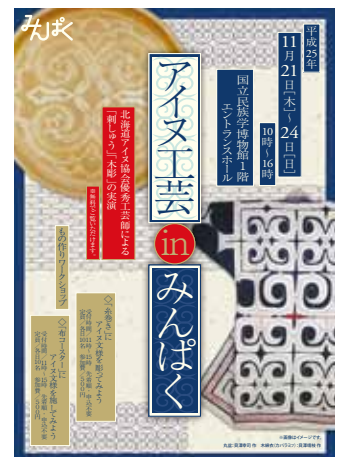


アイヌ工芸 in みんなく

北海道アイヌ協会優秀工芸師による作品紹介・製作実演のほかに「もの作りワークショップ」を実施いたします。アイヌ民族が培ってきたもの作りの技術や知恵、伝統から創造された数々の作品にふれてみませんか。

日時：2013年11月21日（木）～24日（日）10：00～16：00

場所：国立民族学博物館 1階エントランスホール



— 齋藤玲子（民族文化研究部・助教） —

9. みんなく映画会／ワールドシネマ

人生、ブラボー！

詳細は
こちら

カナダのフランス語映画「人生、ブラボー！」を上映します。過去に行った精子提供によって、遺伝子上533人の子どもがいることが発覚したうだつのあがらない男の成長の物語を通して、新しい形の家族の在り方について皆さんとともに考えていきます。

日時：2013年11月10日（日）13：30～16：30（開場13：00）

場所：国立民族学博物館 講堂

定員：450名

※入場整理券を10：00から講堂入口にて配布いたします。（事前申込不要）



— 小長谷有紀（民族社会研究部・教授） —

10. 特別展「渋沢敬三記念事業 屋根裏部屋の博物館 Attic Museum」関連

詳細は
こちら

ファンタジックコレクション 集まれ！なんでも収集家！

本ワークショップは、全2日間のワークショップです。個人の収集物を分類、定型して展示公開することとは？人はなぜ物を集めるのか？などについてみんなばく教員と一緒に考えます。参加者各自のコレクションの分類法や着眼点を写真で発表し、1階エントランスホールにてパネル展示します。

日 時：2013年10月27日（日）13：00～16：00（開場12：30～）

2013年11月17日（日）13：00～16：30（開場12：30～）

場 所：国立民族学博物館 本館展示場（ナビひろば）、特別展示館

対 象：一般（小学4年生以上、それ以下は保護者同伴で参加可）

参加費：無料※要観覧料（一般830円、高校・大学生450円、中小生250円）

※11月17日は無料観覧日より観覧料は不要です。

定 員：15名（要申込：10月14日（月・祝）必着）



— 飯田卓（先端人類科学研究部・准教授） —

11. 共催イベント

モンゴル秋祭り

関西在住のモンゴル人、モンゴルと長年の交流を続けてきた日本人と関係諸団体の協力のもと、モンゴル文化と習慣、モンゴルと日本の交流活動などを紹介し、両国の文化交流をいっそう深めたいと思います。

日 時：2013年10月26日（土）11：00～（開場10：30～）

場 所：国立民族学博物館 講堂

参加費：無料（事前申込不要）

定 員：450名

出 演：KIWI（キウイ）

主 催：在大阪モンゴル国総領事館

共 催：国立民族学博物館

協 力：MIAT モンゴル航空、千里文化財団



KIWI(キウイ)

モンゴルで大人気のセクシー系アイドル。モンゴル人のアーギー、金髪のリーダーウカ、アフリカ系のムナーマー、それぞれの個性が魅力の三人組。2004年結成。ロシア、韓国、東京でも公演をおこなうなど、海外でも活躍中。

屋外プログラム

万博記念公園（自然文化園）にて、モンゴル料理の販売や、民族衣装の試着など、モンゴル文化に親しんでいただく屋外プログラムを行います。（ただし雨天の場合、屋外プログラムは中止）

モンゴル相撲大会／モンゴルの遊び「ジャガイ」／モンゴルの音楽「のど歌ホーミー・馬琴頭」 ほか

— 小長谷有紀（民族社会研究部・教授） —

12. 平成25年度みんなばく若手研究者奨励セミナー

アートを考える——人類学からのアプローチ

本館では若手研究者による「みんなばく若手奨励セミナー」を開催しています。当セミナーでは、機関研究「マテリアリティの人間学」をテーマに、本館教員によるプロジェクト紹介に続いて参加者による個人研究発表を行います。その際、参加者の中から優秀発表者を選出し、「みんなばく若手セミナー賞」を授与します。

日 時：2013年11月20日（水）～22日（金）

場 所：国立民族学博物館 本館2階 第6セミナー室

— 丹羽典生（研究戦略センター・准教授） —

13. お知らせ

Youtube チャンネル

Youtube
の詳細

Webアプリ
の詳細

特別展「渋沢敬三記念事業 屋根裏部屋の博物館 Attic Museum」関連 Web アプリ

Youtube チャンネル

国立民族学博物館公式 YouTube チャンネルを開設しました。
随時、特別展やイベントの紹介映像を掲載していきます。

Web アプリ

- ・特別展のねらいや、見どころをご案内
- ・アンケート終了画面を特別展示場の入口でお見せいただくと、
先着100名様は無料でご観覧いただけます。



— 八杉佳穂（広報企画会議・議長） —

14. お知らせ

北大阪ミュージアムメッセ

詳細は
こちら

北大阪の7市3町（吹田市、箕面市、池田市、豊中市、茨木市、高槻市、摂津市、能勢町、豊能町、島本町）の美術館・博物館、計51館が、大集結します。入場、参加は無料。美術館・博物館の文化祭「北大阪ミュージアムメッセ」にぜひお出かけください！

日 時：11月3日（日・祝）～11月4日（月・振替休日）

場 所：国立民族学博物館 地下休憩所（特別展示館 BF）、エントランスホール（本館 1F）

参加費：無料

— 八杉佳穂（広報企画会議・議長） —

15. お知らせ

展示場一部閉鎖のお知らせ

詳細は
こちら

本館展示新構築及び空調設備更新による工事のため、下記の期間、展示場の一部を閉鎖いたします。ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。なお、空調設備更新の工事に伴う一部閉鎖期間中【平成25年12月5日（木）～平成26年2月18日（火）】は観覧料を無料とします。

《本館展示新構築に伴う閉鎖》

1. 平成25年11月6日（水）～平成26年3月19日（水）

朝鮮半島の文化、中国地域の文化の各展示、企画展示場 B

なお、新構築する朝鮮半島の文化、中国地域の文化、日本の文化（沖縄のくらし、多みんぞくニホン）展示は平成26年3月20日（木）にオープンします。

《空調設備更新工事に伴う閉鎖》

2. 平成25年12月4日（水）～平成26年1月22日（水）

音楽展示の一部、言語、南アジア、東南アジア、中央・北アジア、アイヌの文化、日本の文化の各展示、ナビひろば、休憩所

3. 平成26年1月22日（水）～平成26年2月19日（水）

オセアニア、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、西アジアの各展示、音楽展示の一部

— 八杉佳穂（広報企画会議・議長） —



国立民族学博物館

懇談会についてのお問い合わせ

国立民族学博物館 広報企画室広報係

電話 :06-6878-8560 (直通) FAX:06-6875-0401 Mail:koho@idc.minpaku.ac.jp